

めいわ 議会だより



2015
No.68
平成27年
8月10日発行

群馬県邑楽郡明和町議会
<http://www.town.meiwa.gunma.jp>

ホームページに議会会議録を掲載しています。



“ワッショイ！ワッショイ！”
(こども園 夏まつり)

定例会 ②
条例制定・改正
平成27年度一般会計補正予算
臨時会 ④
議会構成の変更

一般質問 ⑤
やさしい町づくりのために町政を問う
委員会報告 ⑪
議会改革特別委員会
文教・厚生常任委員会

第2回

定例会

6月定例会
6/9~15

6月定例会

平成27年第2回明和町議会定例会は、6月9日に招集され、15日までの7日間の会期で開かれました。

この定例会には、町長から報告3件、条例制定や改正、補正予算等の議案9件が提出され、慎重に審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。

また、5人の議員から一般質問が出され、活発な議論を展開して町当局の所信をいただきました。

第2回定例会 6/9~15

提出議案と審議結果

種 別	件 名	審議結果	
報 告	平成27年度明和町土地開発公社予算の報告	承 認	
報 告	平成26年度明和町土地開発公社事業及び決算の報告	//	
報 告	繰越明許費繰越計算書	//	
条 例	明和町選挙公報の発行に関する条例の制定	全員賛成	原案可決
条 例	明和町介護保険条例の一部改正	//	//
条 例	明和町企業誘致促進条例の一部改正	//	//
条 例	明和町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正	//	//
その他	群馬東部水道企業団の設立	//	//
その他	町道路線の認定	//	//
予 算	平成27年度明和町一般会計補正予算（第2号）	//	//
予 算	平成27年度明和町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	//	//
予 算	平成27年度明和町介護保険特別会計補正予算（第1号）	//	//

条例

主な質疑

明和町選挙公報の発行に関する条例の制定

質問 第3条に「選挙公報の品位を損なう記載をしてはならない。」とあるが、品位は誰が審査するのか。

総務課長 規律等は、選挙管理委員会が決めることになっていきます。

明和町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正

質問 適用する区域の範囲に明和大輪西工業団地を加える改正だが、ここへの進出企業の予定はあるのか。

都市計画課長 現在、複数の企業が関心を持つっており、町としても企業に対してアピールをして進めていきたいと考えています。

群馬東部水道企業団の設立

その後、10月に組織を設置していく予定です。

質問 桐生市とみどり市の合併問題があるが、群馬東部水道企業団の考えは。

環境水道課長 厚生労働省へ10年間の事業計画を提出しているので、計画後の協議になると思います。

平成27年度

補正予算

主な質疑

一般会計

公共施設送迎バス

質問 スーパー進出に伴う町内巡回バス停留所の設置場所は。また、ベンチ等の設置の考えは。

住民福祉課長 設置位置は現在協議中です。また、ベンチ等は今後店舗側と相談して検討していきます。



町道路線の認定

質問 谷田川堤防上の河川管理用道路2路線は、道路の幅員が3メートルと狭い。通行車両のすれ違い場所を考えているのか。

経済建設課長 堤防上の舗装は館林土木事務所が行いますので、要望していきます。

農業委員会委員に推薦

農業委員の任期満了により、3名のかたを推薦しました。(敬称略)

小野 光枝 (南大島)
吉永 寿子 (梅原)
金子 征雄 (入ヶ谷)

第1回

臨

時

会

5/11

平成27年第1回明和町議会臨時会は、5月11日に招集され、会期1日で開かれました。

議長不在に伴う選挙が行われ、新議長・新副議長を選出しました。そのほか議会運営委員の選任も行われ、議会構成の一部が変更になりました。また、町長から条例改正及び補正予算の3議案が提出され、慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決しました。



副議長 川島 吉男 議長 栗原 孝夫

就任あいさつ

町民の皆様には、日頃から議会活動にご理解をいただきまして、誠に有り難うございます。

前富塚議長の任期途中の辞任に伴い、5月の臨時会におきまして議員各位のご推挙により、私たちが議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、改めて責任の重さに身の引き締まる思いでございます。公平、公正な議会を目指し、議員としての品格を保ちつつ町民の負託に応える議会運営に努めていく所存であります。

現在、町では大きな事業が進められており、活性化が期待されるところです。議会としても、このチャンスを見極めながら「住んでいてよかった明和町」と言っていただけのように誠心誠意努力してまいりたいと思います。町民皆様方のなおいっそうのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のあいさついたします。

議会構成の一部変更

■文教・厚生常任委員会

委員長 田口 晴美

副委員長 奥澤 貞雄

■議会運営委員会

委員長 田口 晴美

主な質疑

国民健康保険税条例

■質問 国民健康保険税の基礎課税額、後期高齢者支援金等課税額、介護納付金課税額の限度額引き上げの対象となるのは。

■答 務課長 基礎課税額の対象世帯は47世帯から46世帯、支援金は30世帯から26世帯、介護納付金は6世帯から4世帯にそれぞれ減少します。

平成27年度一般会計補正予算

■質問 選挙費のし尿等汲取料と仮設トイレ借上料、発電機借上料について説明を。

■答 務課長 し尿汲取料、仮設トイレ借上料は、第1投票所に設置した仮設トイレの費用です。また、発電機借上料は、停電等の対応策として各投票所へ設置しています。

第1回臨時会 5/11

提出議案と審議結果

種 別	件 名	審議結果	
条 例	専決処分の承認（明和町税条例等の一部改正）	全員賛成	原案可決
//	専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部改正）	賛成多数	//
予 算	専決処分の承認（平成27年度明和町一般会計補正予算（第1号））	全員賛成	//

町政を問う



6月定例会では5人の議員から13項目について一般質問が行われました。

議会だよりでは、質問と答弁を要約して掲載しています。

■ 今成 隆 議員 6ページ

- ・ 町長政策での町政運営について
- ・ 選挙投票率について

■ 野本 健治 議員 7ページ

- ・ 明和町のスポーツ推進について
- ・ 合併問題について
- ・ 東部地区の活性化について

■ 堀口 正敏 議員 8ページ

- ・ 農業振興について
- ・ ふるさと納税について

■ 岡安 敏雄 議員 9ページ

- ・ スーパー進出の現況について
- ・ 緊急通報装置の早期整備について
- ・ 認知症対策の現状について
- ・ 子供の貧困と教育環境及び子育て支援について

■ 関根 慎市 議員 10ページ

- ・ 公共施設送迎バスの有効活用について
- ・ 女性特有のがん検診向上について

Q 新町長に町政を問う

A 町の発展のため全力を尽くす／町長



いまなり 隆 議員
IMANARI TAKASHI

きたいと考えていますので、給与削減の継承は考えていません。

質問 国では、2020年までに3割の女性を管理職や指導的な立場になるよう施策を進めているが、町の今後の任用は。

総務課長 役場では現在、係長以上の管理職が33名おり、そのうち女性課長が1名(約3%)です。今後、人事評価制度を導入し、優秀でやる気のある女性を積極的に管理職として登用していきたいと考えています。

質問 町長の重点施策の一つに民間活力の導入とあるが、どのようなことか。

都市計画課長 民間の投資、民間企業の進出を誘致して、町の発展に必要な可能性を最大限に引き出していきたいです。

質問 企業誘致と定住人口の増加や雇用確保についての考えは。新たな工業団地

造成計画は。また、誘致した企業の雇用状況は。

経済建設課長 企業誘致は群馬県との協議や町内企業から聞き取り等を行い、有益な情報の収集からはじめたいと思います。雇用は企業やスーパーに町内の人を雇用してもらえよう※インセンティブを図ることが重要と考えます。

誘致企業の報告書によると、新規雇用者は24名で、そのうち町内居住者は4名です。

都市計画課長 現在造成を進めている工業団地のほかにも可能性があれば、町の方針を進めていきます。

質問 医師不足の解消、地域医療について、どのように考えているのか。

健康づくり課長 館林市・邑楽郡の首長と連携し、引き続き群馬県や館林厚生病院、また県外の医療機関等への働きかけも強化していきます。

質問 スーパーの出店が決定したが、ほかに飲食店等の出店計画があるのか。

町長 町内企業より駅前に飲食店や買い物ができる場所等の要望があり、数社と交渉を行っています。

質問 平成26年度補正予算で繰越を行った防犯カメラの設置状況は。

総務課長 現在防犯カメラを設置する場所とカメラのタイプ等を検討している段階です。

※インセンティブとは、目標を達成するための意欲刺激・誘因。

その他の質問事項

Q 選挙の投票開票時間を1時間早めている理由は
A 選挙人に選挙結果を早く知らせる義務があるため／総務課長

Q 新しいスポーツの取組は

A 関係団体と協議を通して推進する

生涯学習課長

質問 スポーツ振興都市宣言を行ってから17年が経過したが、現在のスポーツ振興は、以前と大きな変化が無い。スポーツの振興は国も積極的に進めており大変重要であると考えてるが、町として新しい取り組みの考えは。

生涯学習課長 町としては、様々なスポーツに対し、町民一人1スポーツを推進し

ています。新たなスポーツ大会をいくつか開催しましたが、継続できない大会もあり、今後は体育協会やスポーツ推進委員、各関係機関と相談しながら取り組んでいきます。スポーツを通じて、明るい家庭、友情、連帯の輪を広げ、明るい地域づくり、人間愛を育む明るい社会づくりに努めていきたいと考えています。

Q 東部地区の開発は

A あらゆる手段を考え

活性化に努める／町長

質問 現在の明和町は、西高東低と言われている。西部は工業団地、中部は住宅を中心としており、東部は開発が遅れていると思う。千津井地内に計画が進められている最終処分場付近の現状は、農業を中心とした稲作が盛んに行われているが、今後、この周辺地域に新規事業の計画はないのか。

通の利便性を考えると、東部地区は館林インターチェンジから至近距離にあるため、あらゆる手段を考えて活性化を図りたいと考えています。

町長 農政協議が大変難しいと考えています。今後は工業団地の指定など、ある程度の規模をまとめないと、事業が進まない状況です。地権者の方々の了解が得られれば前向きな話ができる可能性があると思います。開発等の許認可は群馬県が行っているのですが、今後議員にも協力いただき、東部地区の開発にチャレンジしたいと考えています。交

その他の質問事項

Q 体育協会への補助金減額の理由は

A 財政運営の方針により減額の対象となった／生涯学習課長

Q 西小学校南校庭に設置されていたスプリングラーは

A 故障により撤去。今後は学校、利用者と協議して検討する／生涯学習課長

Q 合併問題

A 町民の意見が大前提。合併の気運が高まれば考えていきたい／町長



の もと けん じ
野本 健治 議員

NOMOTO KENJI

一般質問



最終処分場建設地付近

Q 米農家への町独自の支援策は

**A 米のブランド化を議論し実施
加工米は1俵500円を確保
／経済建設課長**



ほりぐち まさとし 議員
堀口 正敏

HORIGUCHI MASATOSHI

質問 平成26年産米価が前年より32%近く下がり、過去にない低価格となった。
①米農家への町独自の支援策が必要ではないか。
②加工米の補助は、平成26年産は1俵当たり357円と、大幅に少なくなったが、今後は500円の確保を。
③本町の米は、かつては味つけ米と言われ、おいしいのでブランド性を持っている。米農家活性化のため、町主導による米のブランド化を。

経済建設課長 ①農業法人や大規模経営の担い手を中心に販路を確立し、契約栽培や農家個人が独立した販路を持てるように食味計の導入を促進します。また、生産コスト低減をした20軒の農業者に合計230万円の助成をします。
②平成27年産米は500円の確保ができる見込みです。
③認定農業者協議会や人・農地プラン検討会などで議論し、実施します。
町長 ①種もみの助成は、大きな被害があったときには検討します。

Q ふるさと納税、農産物等の返礼品で寄付額増を

A 返礼品に米、梨などの農産物や梨ワイン／企画財政課長

質問 寄付額（ふるさと納税）は、平成26年度には25万円弱に減った。町の良質な米など農産物を返礼品にして、寄付額を増やす取り組みを。

企画財政課長 これまでは受領書のみでした。今後は、一定額以上の寄付者には、農産物の米、野菜、果物、花卉、特産品の梨ワイン、梨ジュース等を考えています。



Q 認知症の早期発見と予防対策は

A 集団検診時間診票でチェック
運動教室や相談指導で／健康づくり課長

質問 認知症の現状と取り組み状況は。

健康づくり課長 毎年集団

検診時65歳以上に問診票を送付しチェックしています。

平成26年度は10・9%の方が認知症の傾向があるとの結果でした。その予防方法

としては、脳トレを含む運動教室や相談、医療機関の

誘導を実施しました。なお、MCI（軽度認知障害）テス

トは実施していません。今後医療機関と相談していきたいと思っています。

質問 介護保険に占める認知症の割合は。また、町独自の取り組みは。

健康づくり課長 介護保険認定者の8割近くが認知症の対象者となっています。町独自の取り組みは、高血圧や糖尿病患者が若干多い

状況から「脳卒中ゼロ作戦」に力を入れています。

Q 子どもの貧困対策と支援は

A 貧困対策推進法に基づき
各種制度で対応／学校教育課長

質問 子どもの貧困対策と教育環境及び子育て支援は。

学校教育課長 町では就学

援助制度、特別支援教育就学奨励費補助金制度、奨学金制度などの周知をしてい

ます。そのほか、貧困家庭の子どもたちを早期の段階

で生活支援や福祉制度につなげられるよう、福祉関連

機関との連携を図っています。

質問 ※インクルーシブ教育の現状は。

学校教育課長 現在個別課

題対応施設や教室などで対応しています。インクルーシブの理念に沿った対応ができるよう県などと連携し

取り組みます。

※インクルーシブ教育とは、障害の有無によらず、誰もが地域の学校で学べる教育のこと。

Q 緊急通報装置の早期整備を

A 代替え装置配備に向け準備中
／総務課長

質問 屋外放送にかわる情報伝達手段を早急に整備すべきと思うが、現在のどのような検討がされているのか。

総務課長 平成27年2月末をもって屋外放送が終了しました。数社に基本実施設計を作成してもらい、6月中には請負業者を決定する予定です。

その他の質問事項

Q スーパー進出の現状は

A 10月末から11月に outlet した
いとの話／都市計画課長



おかやす とし お 議員
岡安 敏雄

OKAYASU TOSHIO

Q 厚生病院への通院の支援策は

A 現行の運行体制での送迎は困難 ／住民福祉課長



せきね しんいち 議員
関根 慎市

SEKINE SHINICHI

質問 町人口の4人に1人が65歳以上の高齢者である本町では、以前から町の公共施設を巡回する公共施設送迎バスを運行し、高齢者の有効な移動手段となつてはいつ頃か。一日あたりの利用者数や年間の維持費はどれくらいか。

住民福祉課長 送迎バス事業は、海洋センター開館時より大型バスで運行していましたが、平成13年より現在のワゴン車に変えました。平成26年度は運行日数308日、一日平均17・8人、維持費は約305万円です。

質問 明和町から館林厚生病院へ通院するには広域公共バスを利用するしか方法がないが、1本目は7時台、2本目では病院受付に間に合わないなど利便性に欠ける。広域公共バスや町の公共施設送迎バスを連携させる中で、高齢者の通院対策の検討はできないか。また、75歳以上など制限を設ける中で、タクシー券の検討は。

住民福祉課長 公共施設送迎バスは、町内施設利用のために無料で運行している町の自家用バスとの位置づけから、町外への運行区域の拡大は現行体制では困難です。福祉タクシー券については、昼間は高齢者が一人になるなど事業開始時には想定していなかった事例も出ており、現実に即した対応がとれるよう運用方法の検討をしたいと思えます。

質問 交通弱者や買い物支援のため、川俣駅東口・西口を起点とする町内循環バスの導入の検討は。

住民福祉課長 町内循環バスは積極的な提案と受け止めています。地域にとつてよりよい交通機関の在り方について検討していきたいと思えます。

Q コール・リコールでの効果は

A 電話での直接対話が効果的 ／健康づくり課長

質問 がんは死亡原因の第1位となり、年間30万人が命を落としている。特に乳がんは40歳代から、子宮がんは20代・30代の若年層から発症率が高い。町では多くの人に検診を受けてもらうため無料クーポン券を配布しているが、配布前と配布後の受診率はどうか。平成25年度の受診率20%台の要因は。

健康づくり課長 町では平成21年度から無料クーポン券を配布し、子宮がん検診で7%、乳がん検診で2・1%アップしました。受診率が低い要因として、職場等で受診済みの方の把握が難しく、対象者から除けないこと、医師不足のため医

健康づくり課長 町では無料クーポン券導入時から発送者に限定して、再勧奨の通知を出しています。手紙による方法が中心となっていますが、電話での勧奨も行っています。

質問 検診対象者への勧奨（コール）・再勧奨（リコール）を行い、受診率アップに繋げている町もあるが、町の取り組みは。

健康づくり課長 町では無料クーポン券導入時から発送者に限定して、再勧奨の通知を出しています。手紙による方法が中心となっていますが、電話での勧奨も行っています。

議会日誌

4月

- 7日 小・中学校入学式
- 8日 こども園入園式
- 16日 全員協議会
- 〃 広報委員会
- 28日 広報委員会

5月

- 11日 全員協議会
- 〃 議会運営委員会
- 〃 第1回町議会臨時会
- 〃 文教・厚生常任委員会
- 21日 全員協議会
- 〃 議会改革特別委員会
- 〃 文教・厚生常任委員会
- 26日 第40回町村議会議長・副議長研修会（27日まで）
- 29日 呂楽郡町村議会議長会臨時会

6月

- 1日 群馬県町村議会議長会臨時総会及び議会議長・事務局長研修会（2日まで）
- 4日 議会運営委員会
- 9日 第2回町議会定例会（15日まで）
- 〃 全員協議会
- 22日 館林衛生施設組合議会臨時会
- 23日 呂楽館林医療事務組合議会臨時会
- 〃 館林地区消防組合議会臨時会、全員協議会
- 25日 明和まつり運営委員会
- 〃 道路改良促進審議会
- 30日 広報委員会



委員会報告

◆議会改革特別委員会

本委員会は、通算14回の会議を重ね、所期の目的であった「よりよい議会運営の在り方」について調査研究を行ってきました。その中で、一般質問を一括方式から一問一答方式へ変更し、時間制を導入しました。平成26年第4回定例会において初めて実施した一問一答方式の検証を行なった結果、時間配分等の課題も見つかりましたが概ね良好でした。また、平成26年12月18日の第12回当委員会では、予算・決算審議会について平成27

年第1回定例会から予算特別委員会を設置して審議することになりました。審議時間の短縮が図られ、結果的には良好でした。決算審議方法については、改選後の新議員に委ねることとなり、当委員会での結論は持ち越しとなりましたが、当委員会の所期の目的は概ね達成できたものと思います。

今後も町民にわかりやすい議会を目指して議会改革を推し進めていかなければならないと思っています。

◆文教・厚生常任委員会

本委員会は、学童保育所の運営方法について所管事務調査することを決議し、平成26年4月から平成27年5月までの間延べ9回の委員会を開催し、調査研究を行いました。現在東西二つの学童保育所は保護者会が指定管理者として管理運営をしており、この現状に問題点がないか検証しました。保護者会がまとめた問題点の説明を受け、後に館林市・呂楽郡内38箇所の学童保育所のうち、ベテラン指導員のいる「館林市赤羽児童クラ

ブ」、町社会福祉協議会が運営する「千代田町東小学童クラブ」の実情調査を行い、また文部科学省所管の「放課後子ども教室」と厚生労働省所管の「学童保育所」が一体的、あるいは連携して実施している先進地を視野に入れ検討しました。

まとめとして、施設の老朽化による移転新築と運営方法、移転に伴う後地利用、財源確保など町に提案するよう議長宛報告いたしました。

自分が町長 だったら



明中1年
たちかわ こうき
立川 航己さん

僕は、中学生になって、町の色々な所を見る事が多くなりました。そこで気付いた事が二つあります。

一つ目は、落ちているゴミが目につくことが多くなってきたということです。

二つ目は、道路の整備が十分ではない所があるということです。

もし僕が町長だったら、この二つの問題を解決したいと思いました。ゴミが

道に捨てられている事につ

いては、ゴミのポイ捨て防

止を呼びかけたり、清掃活

動を行ったりするとよいと

考えました。道路の整備に



私が町長 だったら



明中1年
ほんざわ すみれさん

もしも、私が町長だった

ら、この明和町を誰もがも

つと住みよい町にしたいで

す。

まず、多くの人がより気

軽に利用できる店舗を設け

ます。このような店舗は、

色々な物がそろっている、

議会の生の声を 聴いてみませんか？

次回定例会

9月7日(月)から
午前9時～

9月18日(金)まで
(一般質問は9月8日・9日)

予定です

詳しくは議会事務局へ
TEL 84-3111

広報委員会

委員長

副委員長

委員

栗原 孝夫
田口 晴美
川島 吉男

奥澤 貞雄

編集後記

今年の暮れには衆議院議員選挙。4月には県議会議員選挙、そして町長選挙。7月に入っては群馬県知事選挙と4つの大きな選挙が続きました。そして7月26日は町議会議員選挙で、かなり選挙の多い時期でした。この議会だよりが発行される頃には議員も町民の皆様の審判を受けています。皆様ご存じのように、

来年より選挙権が18歳以上になります。外国では18歳以上の国が主流のようです。日本も高校生くらいから国の将来を考える機会が与えられたのです。同時に重い責任も与えられたことになりました。これからは、皆様にはもちろんのこと若い人にも少しでも関心をもってもらいたいと考えています。

栗原委員記